

令和 6 年度 東海村社会福祉協議会事業報告

本会は「かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくり」を基本理念に、一人のニーズを地域全体の課題として捉え、住民のニーズに立脚した事業活動を進めてまいりました。また、地域住民及び団体、福祉施設や企業などと連携・協働しながら、多様な参加の機会を生み出し、複雑・多様化する地域生活課題の解決に向けて取り組んでおります。

令和 6 年度は、第 5 次東海村地域福祉活動計画並びに第 4 次東海村社会福祉協議会発展・強化計画の 2 年目でありました。実施計画におけるそれぞれの事業目標の達成に向けて、令和 5 年度に得られた結果や成果、資源を活かしながら、事業ごとに単年度目標を設けて、具体的な推進方法により取り組んでまいりました。さらに、本計画と第 4 次東海村地域福祉計画とで相互に連携・補完し合いながら、引き続き「地域づくり」「参加支援」「相談支援とアウトリーチ」の 3 本柱を軸に重点施策を推進してまいります。

各事業の詳細について、以下のとおり、重点施策から基本計画に沿って報告いたします。

重点施策

1. 地域づくりと地域福祉人材マッチングの促進

地域づくりを推進するにあたって、地域に住む様々な住民（個人・団体）が、世代や領域を越えて交流し、つながりあえる場や機会を創出するための取り組みと、そこで活躍する人材の育成・マッチングに取り組みました。通いの場の創出については、地域で既に活動を行っている地区社協の食事会やサロン活動などに対して、「エンジョイサマースクール」を活用した子どもたちの受入れ促進や、対象者を限定しない開催形式への転換など、フリースペースとなるような支援を行いました。

また、新たな通いの場の創出や人材発掘の観点からは、従来の課題提起型からのボランティア養成講座の開催形式ではなく、興味・関心ごとから活動者同士の繋がりづくりを行う「東海村 find」を新たに開始し、新たな取り組みに向けて協議を進めています。スマホサポートボランティアの活躍の場として開催してきた「ぶらっとスマホ広場」「スマホ相談窓口」についても、開催場所を増やしたり、保険課と連携した健康相談会とのコラボレーションなど、地域にある様々な社会資源同士の連携を意識して取り組みました。

2. 参加支援の協働と場の拡充

就労することや社会に出ることに不安を抱えている方に対し、参加支援事業「JOIN」やフリースペース「JOINUS」を実施し、それぞれが持つ個性に目を向けて、事業者やボランティアなど様々な社会資源と連携しながら、参加支援の機会へつなぐ取り組みを進めました。

学習支援事業では、学習だけではなく社会参加の機会として様々な体験プログラムを提供しました。また、不登校気味の子を持つ親同士の話し合いの場として、「学校に行かない・行けない・行きにくい子をもつ親のつどい」をスタートしました。

障がい者センターでは、「がんばったねカード」の活用や総合福祉センター「絆」での作品販売や地域交流を通じて、障がいがある方が達成感を得る機会をつくり、社会参加の促進を支援しました。

また、掘り起こした地域の社会資源情報を「地域情報検索システムまるっとナビ」への登録を行いました。社会資源情報を活用し、利用者等のニーズに合わせたオーダーメイドの社会参加のメニュー作りに向けた取り組みをより一層進めていきます。

そして「絆ゆいまるまつり（ふれあい福祉まつり）」の開催に向けて実行委員会を組織しました。住民とボランティア・市民活動団体・企業などが交流、かけ合わせる（コラボレーション）ことにより、幅広い年代の住民や団体が福祉に関心を持ち、助け合いの意識を育むことにより活動へのきっかけづくりを行っていきます。

3. 誰ひとり取りこぼさない相談支援とアウトリーチ

重層的支援体制整備事業も3年目が終わり、重層的支援会議の定期開催、行政職員や相談支援機関を対象とした研修会の開催など、包括的支援体制の構築に向けた連携をさらに推進することができました。

アウトリーチについては、小学生を対象とした「地域 de “きずな、かま」を通じて子どもたちと地域住民の顔の見える関係性の構築を目指しました。また、引きこもりがちな住民の情報を「ほっとけないシート」等を通じて寄せていただいた際は、関係機関との連携を図りながらアウトリーチを展開しました。

とうかいライフ・エンディングサポート事業は、1件の契約、2件が契約準備中の段階で、順調に推移しています。また、広く終活に関する啓発としてセミナーの開催や個別の相談にも丁寧に応じています。

4. 法人財源強化に向けた新たな基金設置と寄付受入の取組み

自主財源強化に向け、資産運用について、理事会・評議員会で具体的内容を報告し、承認を得て、運用を開始しました。今後は、資産運用状況を確認しつつ、運用益を地域福祉の推進に還元していきます。

また、重層的支援体制整備事業(6事業)の清算金の在り方について、方針案をもとに行政と協議し、清算ルールについて取り決めを行いました。

基金積立金の管理や活用に関するルールの組織全体での共有を図るため、新任職員向けに基金についての研修会を開催しました。基金については、引き続き、各センター・系の事業等を通じて、地域住民に寄付意識の醸成を促していきます。

5. 長期的視点に立った人材育成

実践的な専門性を身に付けられる職場づくりを推進するために、「自主研修助成要項」について助成費用の具体例等を含めた周知を行い、費用の助成を行いました。

また、職員のヒアリング・フィードバックを実施し記録する仕組みを「人材育成面談」と位置づけ、検討会にて協議し、導入に向け準備を進めました。今後は、長期的なキャリア形成の仕組みが構築できるよう「人材育成基本方針」の見直し等を行っていきます。

人事評価制度では、職員個人のモチベーション向上を目的に、今までの業務の足跡や評価が実感できるよう、定期的に個別実績を振り返ることのできる仕組みを導入しました。

第5次東海村地域福祉活動計画

基本理念 『かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくり』

基本目標 1 【全ての住民が役割を持ち輝ける地域づくりの推進】

基本計画①

社協が持つコーディネート機能を発揮し、地縁に基づく住民活動をはじめ、企業や福祉施設など地域で活躍する多様な方々が分野・領域を超え、一体となれる地域を目指します。

○地区社協会長連絡会

実施時期	内 容	参加者数(名)
5月17日	・正副会長選任、各種委員の変更について ・令和6年度地区社協支援にかかる各種事業について ・情報交換(各地区の情報交換)※以降毎回実施 ・地区社協担当職員による実践事例紹介	24
7月5日	・令和6年度地区社協予算積算基準について ・地区社協組織体制見直しにかかる小ワークショップについて	27
9月6日	・令和5年度地区社協下半期事業について ・ふれあい協力員活動修了者顕彰制度について ・地区社協体制見直しにかかる小ワークショップについて	26
11月1日	・令和6年度住民座談会について ・ふれあい協力員退任者顕彰にかかる感謝状贈呈式について ・地区社協組織体制見直しにかかる小ワークショップについて	26
3月7日	・令和6年度住民座談会の報告について ・令和6年度事業費の清算について	23

○ふれあい協力員リーダー研修会

実施時期	内 容	参加者数(名)
7月12日	舟石川コミセン会議室において「ふれあい協力員リーダーの役割と各地区社協の取り組みについて」というテーマで、リーダーの役割説明と、ICTを活用した福祉施設の見学や新たな取り組みを行う居場所サロンの講演	37

○住民座談会

実施時期	実施内容	対象地区	参加者数(名)
2月1日	【コミュニティカフェ石神】 『今までの活動を見直し、長く続けられる地区社協を目指そう』	石神	58
2月2日	【これからの地域福祉をみんなで語る会】 『地区社協のあり方を再考し、持続可能な地区社協活動を目指そう』	村松	33
2月5日	【懇親座談会】 『真崎地区社協的SDGsについて考える Part.2』	真崎	32
2月15日	【中丸カフェ】 『Step Up を目指して！聞いて・見て・考えよう』	中丸	37
2月15日	【地域のふれあいを考えるお茶のみ会】 『地区社協のあり方を再考し、持続可能な地区社協活動を目指そう～地域の現状や課題を話そう～』	白方	58
2月22日	【語らいつなぐカフェ】 『地区社協活動の思い出をはなしてみませんか？～素敵な活動を続けていくために～』	舟石川・船場	47

○ 有償サービス活動実績

団体名	サービス名等	実績	本年度	前年度	実績	本年度	前年度
はーとふる	家事援助	協力会員数	24	26	回数	434	354
					時間	1,031	768
すくすく	個人保育サポート	協力会員数	65	70	回数	2,123	1,658
		登録会員数	1,017	988	時間	6,157	4,374
	集団保育サポート	協力会員数			回数	192	331
		登録会員数	46団体	46団体	時間	1,092	1,658
はーとろーど	移送サービス	協力会員数	15	17	回数	404	412
		登録会員数	94	79	時間	404	412
合 計					回数	3,153	2,755
					時間	8,684	7,212

○ 保育サポート「すくすく」運営支援

実施時期	内 容
5月	「ファミサポ通信」No.12発行
8月7日	普通救命講習会
10月	「ファミサポ通信」No.14発行
1月15日	安全運転講習会
2月21日	スキルアップ講座 & 交流会

※通信No.13は欠番

○ 移送サービスボランティア「はーとろーど」運営支援

実施時期	内 容
4月17日	定期総会
7月12日	第1回役員会
7月12日	第1回「はーとろーど通信」編集委員会打ち合わせ
9月6日	第1回普通救命講習会
1月10日, 15日	安全運転講習会
2月27日	交通安全講習会
3月4日	第2回「はーとろーど通信」編集委員会打ち合わせ
3月6日	第2回役員会
3月8日	「はーとろーど通信」第50号発行

○ 地域福祉支援ボランティア「はーとふる」運営支援

実施時期	内 容
4月25日	定期総会
9月6日	普通救命講習会
9月20日	第1回役員会
11月6日	会員研修会
3月18日	第2回役員会
	身体拘束廃止委員会(実施なし)

○ 地域の居場所づくり関係実績

事業名	内容	開催回数	参加者延べ人数(名)
ぷらっとスマホ広場	・スマホサポートボランティアと共にスマホ操作に関する相談に応じ、かつ社協職員が生活相談に応じる	11	利用者:34 ボランティア:33
地域de“きずな”かま ※コミュニティスペースLienでの開催除く	・地域の通いの場に子どもたちを受け入れてもらうことでプラットフォームの意識醸成を図る	11	97

○ 東海村find～好きなこと・関心事からはじまるつながり～

開催テーマ	内容	開催回数	参加者延べ人数(名)
「食」 開催日:10月12日・11月30日・2月15日	①自己紹介, フリートーク ②「食のこだわり」発表, フリートーク ③「findメンバーとやってみたいこと」発表, フリートーク	3	23

○ 食糧寄付受入・法外援護実施件数

・食糧寄付

本年度(件)	265	前年度(件)	240
--------	-----	--------	-----

・法外援護

内 容	本年度(件)	前年度(件)
行 旅 人	1	1
食 糧 品	299	224
援 護 金	2	1
その他(制服・衣類など)	0	2

○ もぐもぐお届け便実績数

内 容	本年度	前年度
利用世帯数	47	37

○ フードロスマッチング事業

内 容	本年度	前年度
利用世帯数(世帯)	20	23
チケット発行数(枚)	1,435	1,440
協力店舗数(店)	10	8
協力金支払額(円)	278,400	166,200

基本計画②

様々な世代や関係機関(企業等)が領域を越えて交流できる居場所づくりを充実させ、子どもから大人まで誰もがつながりを持てるような地域を目指します。

○ ふれあい活動(実施地区・設置場所)

内 容	実施地区	対象	参加者数(延べ)
・菓子の提供から変更して宅配弁当や食事作りを行う地区もあり、各地区の状況に沿った形式で実施された。またサロン活動や集会所解放型で対象者を拡大し、活動が行われた。	9	65歳以上の独居者、高齢者世帯、身体・精神・療育手帳の交付を受けたひとり暮らしの者等、地区社協が独自に設定	1,114

○ ふれあい・いきいきサロン支援

サロン登録数	本年度	前年度
	40	41

サロン研修会	内 容	対象	参加者数(名)
11月21日	活動者の実践報告・活動者同士の情報交換会	ふれあい・いきいきサロン及び地区社協支え合い活動関係者	12

○ 地域子育てサポート

・親子ふれあい、子育て応援事業

参加人数(名)

実施時期	内 容	参加組数(組)	参加人数(名)	参加ボランティア(名)
6月10日	講話「離乳食について」	16	33	3
6月24日 ～29日	子ども服おゆずり会	157		9(事前準備のみ)
7月20日	家族であそぼう(縁日遊び)		129	6(茨城大学)
7月20日	とみかると一緒にあそぼう		129	14(劇団とみかる)
10月5日	家族であそぼう(運動会ごっこを楽しもう)	47	134	5(茨城大学)
11月9日	家族であそぼう(水戸ぴよ音楽会)	29	78	16
11月18日	講話「歯のはえはじめ、歯の磨き方」	16	32	1
12月7日	たこつくり	28	77	
2月17日	講話「知っておきたいアレルギー」	9	18	1
3月15日	家族であそぼう(高校生と遊ぼう)	23	64	18(東海高校JRC部)
3月28日	人形劇を楽しもう		102	12(茨キリ大)

・季節イベント関係

実施時期	内 容	参加組数(組)	参加人数(名)	参加ボランティア(名)
4月22日, 23日, 25日	端午の節句会	50	107	3
7月1日, 3日, 4日	七夕会	83	177	3
9月25日, 26日, 27日	運動会	88	194	3
10月28日, 30日, 31日	ハロウィン	82	173	3
11月25日, 27日, 28日	カレンダー作り	81	165	
12月18日, 19日, 23日	クリスマス会	83	177	3
1月29日, 30日, 2月3日	節分会	70	146	3
2月26日, 27日, 3月3日	ひなまつり	109	163	3

・エンジョイサマースクール

実施時期	内 容	参加人数(名)	参加ボランティア(名)
7月30日	運動ゲームであそぼう	26	3(高校生)
7月31日	ソリティアを楽しもう	12	11(一般)・3(高校生)
7月31日	不思議な光の万華鏡づくり	30	4(高校生)
8月2日	けん玉体験教室	31	1(一般)・5(高校生)
8月6日	科学の力を使っておもちゃを作ろう	18	3(一般)・2(高校生)
8月8日	スノードーム&風鈴を作ろう	27	3(高校生)
8月8日	フォトフレームを作ろう	17	3(高校生)
8月9日	手話を学ぼう	33	11(手話講師)・4(高校生)
8月20日	「未就学児とお店屋さんごっこ」の準備をしよう	16	6(高校生)
8月21日	未就学児とお店屋さんごっこをしよう	37	17(高校生)・3(茨大)
8月23日	運動遊び教室	19	1(一般)4(高校生)3(大学生)

・小学生ふれあい事業

実施時期	内 容	参加組数(組)	参加人数(名)	参加ボランティア(名)
8月28・29日	夏休み小学生あつまれ	13	40	
10月26日	英語でハロウィンを楽しもう	27	66	3(一般)
12月26日	冬休み小学生あつまれ	4	11	
12月26日	小学生折り紙教室		31	2(一般)・5(大学生)
3月27日	新1年生・小学生あつまれ	5	25	
3月28日	人形劇に参加しよう		32	12(大学生)

・ママリフレッシュ事業

実施時期	内 容	参加人数(名)	参加ボランティア(名)
4月24日	骨盤スリムストレッチ	12	1
6月7日	鈴木ハーブ園見学	14	2
6月26日	多肉植物寄せ植え	10	1
8月22日	親子でZUMBA	27	1
10月1日・29日	バルーンアート	20	1
11月13日	ZUMBA	13	1
11月22日	救命講習会	21	2(消防署員)
12月5日	リース作り	14	1
1月30日	エッセンシャルオイルミニ講座	6	2
2月13日	骨盤トレーニング	14	1
3月13日	救命講習会	13	2(消防署員)
3月27日	掲示物作成ボランティア	10	

基本計画③

地域住民一人ひとりが役割を持ち、地域活動の主役として活動できるよう、社会資源を生かした多世代型の「福祉共育」を進めていき、地域づくりへの参加を推進します。

○ 福祉教育推進事業(学校別)

合計回数	34	合計参加者数	2,155
------	----	--------	-------

・学校別内訳

学校	対象学年	内 容	参加人数(名)
石神小	4	福祉って何だろう	36
	4	ごみ分別体験講座	36
	4	アイマスク体験	35
白方小	4	福祉って何だろう	81
	4	手話体験	81
	4	点字体験	81
	4	アイマスク体験	81
	4	車いす体験	81
照沼小	4	福祉って何だろう	13
	4	アイマスク体験	13
	5.6	インスタントシニア体験	36
	4	点字体験	13
	4	手話体験	13
中丸小	4	福祉って何だろう	103
	4	車いす体験	103
	4	アイマスク体験	103
	4	手話体験	103
	4	ごみ分別体験講座	103
	4	点字体験	103
	4	点字体験	-
舟石川小	4	福祉って何だろう	72
	4	手話体験	72
	4	点字体験	72
	4	車いす体験	72
村松小	4	福祉って何だろう	45
	4	車いす体験	45
	4	いきいき体操を地域に広めよう	45
	4	手話体験	45
	4	点字体験	45
	4	防災について考えよう	45
東海南中	1～3	赤い羽根共同募金のお話	29
東海中	1～3	福祉についてのお話	30
東海高校	1	福祉・介護・認知症、手話、読み聞かせ、物づくり、災害・防災、民話・歴史・観光	160
	1	福祉・介護・認知症、手話、読み聞かせ、物づくり、災害・防災、民話・歴史・観光	160

○ 福祉教育推進事業(多世代)

対 象	内 容	開催回数(延べ)	参加人数(延べ)
地域住民向け	認知症、悪徳商法に関する寸劇	2	22
	企業・専門職版出前講座調整	11	324
	手話体験講座	1	18
専門職向け	令和5・6年度未実施	-	-

○ 赤い羽根共同募金

・赤い羽根共同募金

単位:円

目標額	今年度	6,383,000	前年度	6,761,000
実施時期	10月1日～12月31日			
実績額	内訳	本年度	前年度	
		7,355,670	7,365,787	
	① 戸別募金	4,927,800	5,014,500	
	② 法人募金	1,018,350	1,034,720	
	③ 職域募金	425,690	460,915	
	④ 学校募金	215,684	205,776	
	⑤ 街頭募金	47,120	52,047	
	⑥ 寄付つき商品	147,503	134,422	
	⑦ その他(募金箱設置等)	573,523	463,407	

・歳末たすけあい募金

単位:円

目標額	今年度	2,040,000	前年度	2,189,000
実施時期	12月1日～12月31日			
実績額	内訳	本年度	前年度	
		2,174,349	2,253,690	
	① 戸別募金	2,111,281	2,169,745	
	② その他(個人募金・イベント募金)	63,068	83,945	

基本計画④

情報収集・発信機能を発揮し、社協のみでなく、他の機関が持つ地域のあらゆる社会資源の情報を共有していきます。併せて地域の様々な声(ニーズ)を汲み取り、村全域や地域単位において、活動とニーズがつながりやすい地域づくりを推進します。

○ 福祉機材等貸与

貸与機材	貸与件数(本年度)	貸与件数(前年度)
車いす	104	71
レクリエーション機材(ニュースポーツ含む)	267	321
研修会用機材(プロジェクター等)	34	56
イベント機材(綿菓子機、ポップコーン機、かき氷機等)	117	149
福祉車両等	64	56

○ ボランティア市民活動コーディネート

相談紹介種別	本年度	前年度
ボランティア登録団体数(通算)/団体	99	99
ボランティアサークル登録者数(通算)/名	1,417	1,417
個人ボランティア登録数(通算)/名	45	45
ボランティア市民活動に関する相談(要支援も含む)/件	58	53
総合学習に関すること(協力校事業も含む)/件	34	40
出前講座に関すること/件	19	17
企業ボランティアに関すること/件	0	0

※ボランティアサークル登録者数、個人ボランティア登録者数は数値のカウント方法を改めた数値を示した結果、大幅に減となっている。

○ ボランティア市民活動助成

助成時期	内 容
	令和6年度実績なし

○ ボランティア連絡協議会支援

内 容	概 要	回 数
役員会	4月22日, 5月18日, 7月1日, 8月19日, 10月21日, 11月8日, 12月16日, 1月20日, 2月26日の計9回	9
総会	5月18日に開催	1
会員交流会	2月21日に開催 ・童謡・抒情歌を楽しむ会「やまびこ」発表 ・東海村ソリティア普及会による交流 ・交流会参加団体による1分活動紹介	1
研修	11月26日に開催(北茨城市) ・北茨城の震災・復興と文化・歴史を巡る	1
おうえん助成金審査会	24団体に助成 (上半期に20団体, 下半期に4団体助成)	2

○福祉団体

福祉団体名	内 容
1東海村高齢者クラブ連合会	●総会, 会議・行事等の会場・バスの調整, 春・秋のスポーツ大会, 村の総合スポーツ大会(10月)
2東海村母子寡婦福祉会	●総会●視察研修(12月8日,9日千葉県成田方面・成田山福祉財団成田学園)
3東海村遺族会	●会員相互の親睦交流や研修会等の開催 ●総会(6月1日), 女性部総会(6月17日), 全国戦没者追悼式(8月15日), 茨城県戦没者追悼式(8月29日), 茨城県戦没者遺族大会(12月3日)
4東海村身体障害者福祉協議会	●総会(6月24日) ●役員会(6月6日, 7月11日, 12月13日,3月27日) ●茨城県障害者福祉の集い(10月17日) ●役員研修会(1月30日), 障害者福祉団体リーダー研修会(2月14日) ●日帰り機能回復訓練(10月29日), そば打ち会(2月8日), 一泊機能回復訓練(2月27日, 28日)
5東海村心身障がい児者親の会	●総会(5月), クリスマス会(配布 12月), 廃品回収中止
6東海村日赤奉仕団	●総会(4月15日), 協議会(4月15日, 5月27日, 7月5日, 8月7日, 9月18日, 10月28日, 11月25日, 1月28日, 2月17日, 3月31日), 日赤研修会(11月6日), 役員研修(9月9日), 啓発事業(7月28日)
7東海村子ども会育成連合会	●総会 ●新任役員会にて, ボランティア登録団体の紹介・依頼の説明, 福祉活動器材の貸出の紹介チラシを配布し, 理解を図った。

○絆まるっとプロジェクト

月日	開催内容	参加者数(名)
8月26日	(1)「絆まるっとプロジェクト」の取り組みについて (2)ワークショップ「ペットの飼育問題について考えるPart.2」	22
10月2日	ワークショップ「地域の見守り活動について考えるPart.1」	17
12月18日	ワークショップ「地域の見守り活動について考えるPart.2」	15
3月12日	ワークショップ「農業と福祉の可能性を考えるPart.1」	21

基本目標 2【誰もが地域の中で生きがいを実感できる社会参加の機会と場の充実】

基本計画①

今ある制度では対応が難しい状況にある人達が、地域とのつながりを通して明るい未来を思い描けるような社会参加の機会の創出に取り組んでいきます。

○参加支援事業JOIN活動状況

実 績	本年度	前年度
利用登録者数/名	28	24
活動実績数(延べ)/件	292	242
協力企業登録数/社	14	12
伴走サポーター数/名	6	4

○ 学習支援事業登録・開催状況

実 績	本年度		前年度	
	新規	累計	新規	累計
登録利用者数/名	6	53	6	47
ボランティア人数/名	6	72	8	66
開催回数(通常開催)/回	49			
開催回数(イベント開催)/回	5			
イベント日時	内 容		参加者数(名)	
10月26日	芋ほり体験		11	
11月30日	調理実習		5	
12月21日	クリスマス会		21	
1月7日	餅つき体験		60	
1月18日	白菜収穫体験		5	

基本計画②

ありのままの個性が尊重され、誰もが自分らしく社会生活ができるよう、地域住民や関係機関と連携しながら福祉サービスの充実を図ります。

○ 障がい者センター利用状況

項 目			生活介護事業				児童発達支援事業			
			年間	前年数	月平均	前年数	年間	前年数	月平均	前年数
サービス日数(日)			243	241	20	20	243	241	20	20
利用契約数(名)			234	244	20	20	280	320	23	27
居住地	村内(名)		162	160	14	13	271	320	23	27
	村外(名)		72	97	6	8	9	0	1	0
性 別	男(名)		112	114	9	10	252	272	21	23
	女(名)		122	127	10	11	28	48	2	4
事業別利用状況	基本	利用延べ人数(名)	2,938	3,017	245	251	1,731	1,670	144	139
	給食	契約者数(名)	234	244	20	20				
		利用延べ人数(名)	2,743	2,838	229	237				
	送迎	契約者数(名)	184	184	15	15				
		利用延べ人数(名)	3,876	4,084	323	340				
	入浴	契約者数(名)	144	172	12	14				
		利用延べ人数(名)	832	885	69	74				

○ 児童発達支援事業

	内 容	開催頻度
集団生活指導	身辺自立:衣服の着脱の練習,食事指導,排泄指導など	毎回
	戸外活動:公共交通機関を乗る体験,かみね動物園など	随時
	幼稚園児の支援:幼稚園長期休み中や週1~2回幼稚園での課題となる活動を支援	毎回(午後)
発達相談及び就学等 相談	個人の発達に応じて個別に保護者への支援を行う 幼稚園・保育園と連携し,入園時の情報提供をすることで,利用児の一貫した療育を図る	随時

○ 生活介護事業

	内 容	開催頻度
創作活動	基本事業:作業(手芸,木工,紙すき)	毎日
	選択事業:フリータイム(レク散策・音楽・ゲーム・カラオケ)	1回/週
	オシャレ講座	1回/月
機能訓練	ラジオ体操,ウォーキング(「絆」2周,雨天時は雨の日体操)	毎日
	お菓子作り(誕生会用)	随時
	リハビリ(理学療法士・作業療法士)	1回/週・1回/月
社会適応訓練	戸外活動(大洗水族館,小集団戸外活動他)	2回/年
	地域交流(萬有の森音楽交流・ゆとりの森音楽交流・クリーン作戦・イオン東海店イエローシートキャンペーン等)	随時
	ボランティア交流(読み聞かせ・夏祭り・クリスマス会等)	随時
厚生相談健康指導	健康チェック(月初め)	1回/月
	歯磨き支援	毎日
	医師による健康相談	1回/隔月
	服薬管理支援,衛生指導・生活リハビリ等	随時
スポーツ・レクリエーション	レクリエーション 多目的ホール:バトミントン・ダンス・バランスボール・縄跳び等 多目的グラウンド:個別での運動等 ボランティア交流(演奏会,マジック,南京玉すだれ,腹話術等)	随時
教養・娯楽その他	音楽療法(集団療法) ミュージックケア ビデオ鑑賞会 避難訓練	2回/月 毎日 随時 2回/年

基本計画③

支え手と受け手に分かれず,誰もが地域の中で役割を持って共に助け合う参加支援の場づくりと人材発掘・育成に取り組んでいきます。

○ ボランティア養成講座

講座	内 容	受講者数(名)
手話奉仕員養成講座	厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムに沿って学習し,手話で会話ができることを目的として開催(全35回)	23

○ 情報保障サービス実績

内 容	利用者数(名)
「広報とうかい」や「社協だより」の広報紙の音訳・点訳、マガジン等の音訳活動の実施。	音訳CD 7
	点訳利用者 2

基本目標 3【多様な地域生活課題に応える包括的な相談支援とアウトリーチの推進】

基本計画①

どんな困りごとでも取りこぼさず受け止め、複合的な課題については多機関と連携・協働し解決に向けた支援を行います。

○ 総合相談事業

事 業 名	開催日数(日)		相談件数(件)	
	本年度	前年度	本年度	前年度
弁護士相談	10	10	55	40
行政書士相談	12	12	53	31
福祉相談	通年(年末年始・土日祝日を除く)		200	186
家計相談	新規契約件数(件)		累計契約件数(件)	
	本年度	前年度	本年度	前年度
	5	13	29	48

○ 重層的支援会議

日 時	内 容	参加者数(名)
4月23日	重層的支援会議の運営方法、年間スケジュールについて 個別ケースのプラン検討・評価	15
5月21日	個別ケースのプラン検討	9
6月18日	個別ケースのプラン検討	8
7月26日	個別ケースのプラン評価	9
8月20日	個別ケースのプラン検討	11
9月17日	個別ケースのプラン評価	13
10月15日	個別ケースのプラン検討・評価	11
11月19日	個別ケースのプラン検討	18
12月17日	個別ケースのプラン検討・評価	9
1月21日	個別ケースのプラン検討	12
2月14日	ピカジップ方式を用いたケース検討	19
3月18日	個別ケースのプラン検討・評価	10

○ 生活福祉資金貸付事業

	合 計 件 数		内訳(本年度)
	本年度	前年度	
新規貸付件数	0	2	総合支援資金 0 福祉費 0 教育支援資金 0 不動産担保型生活資金 0 緊急小口資金 0
年度末貸付件数	16	15	総合支援資金 3 福祉費 4 教育支援資金 5 離職者支援資金 2 緊急小口資金 2

○ 生活福祉資金特例貸付

	合 計 件 数		内訳(本年度)
	本年度	前年度	
年度末利用者件数	239	284	緊急小口資金 77 総合支援資金 90 総合支援資金延長 25 総合支援資金再貸付 47
償還終了件数	50	3	緊急小口資金 31 総合支援資金 2 総合支援資金延長 1 総合支援資金再貸付 16

○ 小口資金貸付事業

	合 計 (件)	
	本年度	前年度
新規貸付件数	12	13
年度末貸付件数(累計)	32	43
年度末償還終了件数	9	22

○令和6年度小口資金貸付・償還状況

前年度末未償還金額(円)	貸付金(円)	償還金(円)	欠損処理額(円)	年度末未償還金額(円)
1,332,000	785,000	721,000	0	1,396,000

基本計画②

住民による気づきの視点や専門職の発見力を活かし、本人の気持ちに寄り添ったアウトリーチを拡充します。

○ アウトリーチ等を通じた継続的支援実施実績

	事 業 内 容	対象者	実績数
きずなかま	7月、8月の長期休みに合わせて地域サロン等と共同で開催した。 (内訳)※子どもの参加者数を記載。 7月23日11名、7月24日17名(2箇所開催)、 7月25日13名、7月29日17名、 7月31日30名(2箇所開催)、8月1日2名 8月5日14名、8月7日13名、 8月21日10名、	村内小学生	開催11回
住まいるリセットプロジェクト (10/22)	草木の伐採を通じて、近隣住民との関係性の再構築を目指した。	相談者T様	参加者7名
きずなかま	冬休みに合わせて開催した。 (内訳)※子どもの参加者数を記載。 12月25日16名、12月26日7名	小学5、6年生 他	開催2回
きずなかま	春休みに合わせて開催した。 (内訳)※子どもの参加者数を記載。 3月27日4名	中丸小3～6 年生	開催1回

○ デマンド交通運営利用数(登録者累計10,905人)

	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)	運行日数(日)
4月	3,463	138.5	25
5月	3,489	145.4	24
6月	3,545	141.8	25
7月	3,838	147.6	26
8月	3,511	130.0	27
9月	3,409	155.0	22
10月	3,836	147.5	26
11月	3,465	144.4	24
12月	3,122	148.7	21
合 計 (本年度)	31,678	144.0	220
合計 (前年度)	40,648	138.7	293

特記事項	新システムへの移行に伴い、社協管理から行政管理へ変わったため、1月～3月の実績額は把握が不可。
------	---

○ きれい！スッキリ！年末ごみ出しお助け隊利用件数

実施時期	内 容	対象	件数(本年度)	件数(前年度)
12月	年末の大掃除時期に、独居高齢者等ごみ出しが困難な方の自宅を訪問し、自分では搬出しにくい粗大ごみ等の回収を行った。また訪問をアウトリーチの機会と位置付け、ニーズ把握や解決に向け、関係機関と連携を図り支援した。	75歳以上独居・身体障害者手帳所持独居・80歳以上の高齢者のみの世帯	156	143

基本計画③

専門性の高い相談支援体制を強化するとともに、地域を基盤とした伴走支援を展開します。

○ 児童センター利用者数

・月別利用者数

月	利用者数(名)	月	利用者数(名)
4月	1,579	10月	1,740
5月	1,156	11月	1,498
6月	1,736	12月	1,376
7月	1,615	1月	1,277
8月	1,644	2月	1,364
9月	1,454	3月	1,729
合計(本年度)		18,168	
合計(前年度)		15,385	

・年間登録世帯数

市町村名	登録者数/組(本年度)		登録者数/組(前年度)	
東海村	184		227	
ひたちなか市	88	194	89	171
日立市	41		17	
水戸市	18		10	
那珂市	18		22	
その他	29		33	
合計(本年度)			378	
合計(前年度)			398	

・育児支援相談支援

内容	相談件数(本年度)	相談件数(前年度)
・同じ年齢同士の親子が、繋がりを持てるよう配慮をしながら支援を行った。また、村内に転入してきた親子が孤立しないよう働きかけた。 ・子育てに悩みを抱える養育者に対しては、こどもの遊びに触れ合いながら、一人ひとりに寄り添った育児相談に応じた。	199	222

・定期事業活動状況

事業名	内 容	開催頻度	開催回数(延べ)	参加者数/名(延べ)
砂場開放	・職員を配置し、30分間砂場を開放する *7月～8月 水遊び	毎週金曜日	砂場 12回 水遊び 7回	177 163
主任児童委員支援	・主任児童委員による相談支援	月1回～2回	21回	5
育児サークル	・1年間同じメンバーで活動し、遊ぶ楽しさや友達とのかかわり方を学ぶ。養育者は改めて親子のかかわり方や成長過程を確認すると共に、養育者同士で交流する。	3グループ 各月3回	87回	1616
0,1,2歳児集まれ	・散歩・工作・リズム体操など、年齢に応じた活動で、友達とのやり取りや遊びを知る。また日本の伝統行事を体験する。	3グループ 各月2～3回	75回	2,448
子育てコーディネーター	村の子育てコーディネーターの巡回指導	第1木曜 第3木曜	23回	
アレルギー相談	アレルギーに詳しい講師による相談支援	第2火曜日	12回	11

○ 計画相談支援・障害児相談支援 利用者数

種別 利用者数	計画相談支援(件)		障害児相談支援(件)	
	新規・更新計画作成	モニタリング書作成	新規・更新計画作成	モニタリング書作成
4月	6	6	12	4
5月	1	4	1	11
6月	1	12	3	12
7月	5	4	10	11
8月	2	5	5	1
9月	1	11	6	7
10月	2	4	7	5
11月	3	3	3	5
12月	3	10	5	8
1月	1	3	3	5
2月	2	4	5	7
3月	1	6	0	9
合計 (本年度)	28	72	60	85
合計 (前年度)	25	68	48	100

○ 居宅介護支援/介護予防支援 利用者数

利用者数	介護給付	予防給付・事業対象	合計
4月	80	22	102
5月	78	24	102
6月	79	25	104
7月	81	25	106
8月	83	24	107
9月	83	24	107
10月	83	25	108
11月	84	24	108
12月	85	22	107
1月	83	22	105
2月	77	22	99
3月	81	22	103
合計(本年度)		1,258	
合計(前年度)		1,222	

基本計画④

その人らしい終(しま)いを迎える日まで、住み慣れた地域で生活できるよう、住民とともに権利擁護を推進します。

○ 成年後見制度・日常生活自立支援事業 相談実績

	対象者	初回相談(件)			契約者支援(件)		
		小計	合計	合計(前年度)	小計	合計	合計(前年度)
成年後見制度に関する事 と	認知症高齢者	9	14	7	286	596	306
	知的障がい者	0			214		
	精神障がい者	3			96		
	その他	2			0		
日常生活自立支援事業に関する事 と	認知症高齢者	12	17	28	238	1,372	1,879
	知的障がい者	2			397		
	精神障がい者	2			737		
	その他	1			0		

○ 成年後見制度・日常生活自立支援事業 利用実績

成年後見制度	法人後見受任件数		後見監督人受任件数		出前講座開催件数	
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
	7	8	0	0	5	5
日常生活自立支援事業	新規契約者件数		解約者件数		令和6年度末利用者件数	
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
	4	5	4	6	28	26

○ 法人後見受任審査会 開催実績

実施時期	内 容
5月9日	とうかいライフ・エンディングサポート案件についての審査について(1件)
9月26日	法人後見受任案件の審査について(1件)

○ とうかいライフ・エンディングサポート事業

相談件数		契約件数		解約件数	
本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
11	6	1		0	

※R6年度開始事業であるため、R5年度は相談件数のみ記入とする

第4次東海村社会福祉協議会発展・強化計画

運営理念 ともに実感できる福祉(しあわせ)

経営理念

職員一人ひとりの高い専門性と強い組織力の発揮により住民とともに築く福祉コミュニティの実現

経営目標 I 【住民の理解と協力に基づく透明性の高い組織運営と長期的視点にたった人材の育成】

経営戦略①

理事会・評議員会や各種委員会へ住民の参画を得て、福祉ニーズを吸い上げながら住民主体での地域福祉活動を推進します。

○ 理事会

第1回理事会(令和6年6月6日 多目的ホール 出席者:理事10名, 監事2名)	
報告第1号	令和5年度東海村社会福祉協議会補正予算について
承認第1号	令和5年度東海村社会福祉協議会事業報告並びに決算について
議案第1号	理事候補者の推薦について
議案第2号	評議員候補者の推薦について
議案第3号	評議員会の開催について
同意第1号	令和6年度東海村社会福祉協議会補正予算(案)について
第2回理事会(令和6年12月9日 ボランティア室1・2 出席者:理事11名, 監事2名)	
報告第2号	令和6年度上半期職務執行状況の報告について
報告第3号	令和6年度上半期第5次東海村地域福祉活動計画並びに第4次東海村社会福祉協議会発展強化計画の進捗について
報告第4号	令和6年度上半期監査の報告について
報告第5号	令和6年度東海村社会福祉協議会補正予算について
報告第6号	令和6年度東海村社会福祉協議会会員加入状況について
報告第7号	法人後見受任事業利用者の預り現金紛失事故について
報告第8号	自主財源の資産運用について
議案第4号	評議員会の開催について
第3回理事会(令和7年3月28日 多目的ホール 出席者:理事10名, 監事3名)	
報告第9号	令和6年度下半期執行状況の報告について
報告第10号	令和6年度第5次東海村地域福祉活動計画並びに第4次東海村社会福祉協議会発展強化計画の進捗について
報告第11号	令和6年度東海村社会福祉協議会補正予算について
報告第12号	自主財源の資産運用について
同意第2号	令和7年度事業計画並びに収支予算書(案)について
議案第5号	役員等賠償責任保険の契約更新について
議案第6号	東海村社会福祉協議会職員就業規程の改正について
議案第7号	理事候補者の推薦について
議案第8号	評議員会の開催について

○ 評議員会

第1回評議員会(令和6年6月24日 出席者:評議員19名)	
報告第1号	令和5年度東海村社会福祉協議会補正予算について
承認第1号	令和5年度東海村社会福祉協議会事業報告並びに決算について
承認第2号	令和6年度東海村社会福祉協議会補正予算(案)について
議案第1号	理事の選任について
第2回評議員会(令和6年12月23日 多目的ホール 出席者:評議員13名)	
報告第2号	令和6年度上半期第5次東海村地域福祉活動計画並びに第4次東海村社会福祉協議会発展強化計画の進捗について
報告第3号	令和6年度東海村社会福祉協議会補正予算について
報告第4号	令和6年度東海村社会福祉協議会会員加入状況について
報告第5号	法人後見受任事業利用者の預り現金紛失事故について
承認第6号	自主財源の資産運用について
第3回評議員会(令和7年3月28日 多目的ホール 出席者:評議員15名)	
報告第7号	令和6年度下半期第5次東海村地域福祉活動計画並びに第4次東海村社会福祉協議会発展強化計画の進捗について
報告第8号	令和6年度東海村社会福祉協議会補正予算について
報告第9号	自主財源の資産運用について
議案第2号	東海村社会福祉協議会職員就業規程について
議案第3号	理事の選任について

○ 評議員選任・解任委員会

実施時期	内 容	対象及び人数
6月13日	議案第1号 社会福祉法人東海村社会福祉協議会評議員の選任について	外部委員2名 監事2名 事務局長

○ 社協監査・監事会・部署ヒアリング

実施時期	内 容	対象及び人数
4月5日	令和5年度期末小口現金監査	社協監事2名 社協各担当職員
5月28日	令和5年度期末監査	社協監事3名 社協各担当職員
9月3日	部署ヒアリング(児童センター) 第1回監事会	社協監事3名 社協各担当職員
10月4日	上半期小口現金監査	社協監事2名 社協各担当職員
10月22日	部署ヒアリング(障がい者センター) 令和6年度上半期監査	社協監事3名 社協各担当職員
1月21日	部署ヒアリング(企画総務係) 第2回監事会	社協監事3名 社協各担当職員

○ 地域福祉活動計画推進委員会

実施時期	内 容	出席委員(名)	出席理事(名)
5月27日	第1回東海村地域福祉活動計画推進委員会	11	1
11月14日	第2回東海村地域福祉活動計画推進委員会	7	0
3月6日	第3回東海村地域福祉活動計画推進委員会	9	1

経営戦略②

福祉の専門性と広い視野を持った人材を育成するとともに、地域生活課題に対応でき、新たな社会資源の開発に挑戦する人づくり、組織づくりを行います。

○ 職員人材育成事業

内 容	参加回数		参加者数(延べ)	
	本年度	前年度	本年度	前年度
【内部職員研修】 新規採用職員研修(7名), 新規採用職員部署研修(3名), 新規採用職員フォローアップ研修(2名), 会計実務研修会(4名), 災害ボランティアセンター運営訓練・職員研修(25名)	5	6	41	56
【外部職員研修】 茨城県内社協職員新任・初級研修, 管理・代表者研修, コーディング研修, メンタルヘルス研修, ハラスメント研修, 会計実務講座(初級コース), 社会福祉協議会全国会議, 福祉教育推進セミナー, ボランティア担当者・ボランティアコーディネーター研修, 地域包括ケア全国実践研究集会, ひきこもり支援者向け研修会, 業務改善力向上研修, 福祉現場における事業継続計画(BCP)作成研修, 児童館職員研修会, 主任介護支援専門員更新研修, サービス管理責任者基礎研修, 相談支援従事者初任者研修 他	114	103	114	111

経営戦略③

あらゆる広報媒体を活用した情報発信により、全世代の住民へ広く情報を届け、福祉意識の醸成を図るとともに福祉活動への参画を得ていきます。

○社協広報誌「キズナ」発行(全戸配布)

配布日	特集記事
第1111号 5月25日	○『寄付』を通じたそれぞれの思い
第112号 8月25日	○それぞれの支え“愛”
第113号 11月25日	○輝きを放つ若者たち、それぞれの思い
第114号 2月25日	○いろいろな思いを「活躍の場」につなぐ ～多様性を認め合う、つながりづくり～

○SNS・ホームページ実績

種類	内容	実 績	
		本年度	前年度
ホームページ	アクセス数	48,598	36,495
YouTube	投稿数	0	0
Instagram(東海村社協)	フォロワー数:	1,583	1,272
Instagram(障がい者センター)	フォロワー数:	131	
X(旧・Twitter)	投稿数:		450
LINE(相談)	友達登録数:	407	356
LINE(ボラセン)	友達登録数:	315	314
特記事項	Xは災害発生時のみの使用に運用を変更した。		

○ 社協会員実績

種別	実 績			
	本年度		前年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
普通会員(300円以上/世帯)	7,178	2,157,400	7,372	2,215,500
特別会員(1,000円以上/世帯)	55	55,000	47	47,000
法人会員(5,000円以上/団体)	182	1,325,000	170	1,230,000
合計	7,415	3,537,400	7,589	3,492,500

○ 社協会費啓発の取組み

実施時期	内 容
7月30日	きずな体験会を開催、新規加入者へのイベント参加券や加入特典の配布を行った。
10月～12月	社協会員加入者へとうかいチャリティバザー、育児用品交換会ならびに男女共同参画フォーラム(育児用品チャリティブース)にて使用できる特別チケットを配布した。
11月	法人会員の企業・団体の紹介文を社協SNSへ掲載するサービスを追加した。
2月	社協広報誌「キズナ」へ会費の実績を掲載した。

経営戦略④

安定した財源の確保と管理を行い、財政基盤の強化を図るとともに、透明性の高い運用を行います。

○ 法人財源運用管理

内 容	実 績(円)	
	本年度	前年度
内 訳	534,456,365	473,902,971
① 社協会費	3,527,407	3,492,500
② 寄付金(とうかい未来積立金)	30,000	1,213,287
③ 寄付金(とうかい明日への架け橋基金)	340,000	1,415,487
④ 寄附金(福祉推進基金)	14,574	0
⑤ 東海村補助金	135,418,633	111,712,947
⑥ 東海村受託金	135,540,754	119,552,319
⑦ 指定管理受託金	157,866,396	136,322,186
⑧ その他の受託金(介護予防受託金)	1,163,796	1,057,500
⑨ 県社協受託金	7,694,600	7,991,400
⑩ 共同募金助成金	9,101,705	8,714,699
⑪ 介護保険収入	15,180,560	14,994,440
⑫ 障害福祉サービス等事業収入	68,577,940	67,436,206

○ 善意銀行運営事業

●金銭

預託金(種別)	件数		金額(円)	
	本年度	前年度	本年度	前年度
福祉推進基金	1	0	14,574	0
とうかい明日への架け橋基金	9	23	340,000	1,415,487
とうかい未来積立基金	1	0	30,000	0
居宅介護支援運営基金	0	0	0	0
使途一任寄附金	63	54	895,983	1,213,287
合計	74	77	1,280,557	2,628,774

基金取崩(種別)	繰入先		金額(円)	
	本年度	前年度	本年度	前年度
福祉推進基金	1	4	467,002	4,268,100
	内訳	ふれあい福祉まつり助成金	0	2,000,000
		地区社協リフレッシュ事業	0	1,499,100
		有償サービス車両リース等	467,002	469,000
		福祉活動助成金	0	300,000
とうかい明日への架け橋基金	2	2	586,310	412,880
	内訳	法外援護費	307,910	246,680
		フードロスマッチング事業	278,400	166,200
とうかい未来積立基金	0	0	0	0
居宅介護支援運営基金	0	0	0	0

資産運用	取得額	運用益
地方債(広島公募公債)	28,904,042	0

● 物品

預託品(種別)	件数		金額(円)	
	本年度	前年度	本年度	前年度
未使用はがき・切手・書損じはがき	20	20	83,201	24,846
古本(「キモチと」事業)	41	59	106,302	149,465
ベルマーク・使用済切手	127	125		
その他物品	96	87		
合計	284	291	189,503	174,311

換金総額は●金銭「とうかい未来積立基金」に含まれる

2. 安定した経営基盤を確立するため、新たな自主財源確保の方法を確立し、積極的かつ着実に財源確保に取り組めます。

○ 総合福祉センター「絆」運営実績

運営実績	本年度	前年度
入館者数(名)	124,696	125,138
開館日数(日)	317	306
1日平均(名)	393	409
視察受入(件)	1	2

貸館種別	利用件数(件)		利用者数(名)		利用料合計(円)	
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
多目的ホール	403	373	8,606	6,947	292,500	238,100
視聴覚室	23	9	197	96	1,500	0
ボランティア室1	123	135	951	967	15,700	13,800
ボランティア室2	170	139	1,652	1,339	17,700	13,400
調理実習室	26	25	316	316	1,000	0
合計	745	681	11,722	9,665	328,400	265,300

特記事項	利用料合計額は減免された結果によるもの
------	---------------------

○ 高齢者センター 運営実績

・施設使用状況

施設種別	利用者数(名)		利用料合計(円)	
	本年度	前年度	本年度	前年度
入浴施設	9,021	8,795	891,100	1,999,500
陶芸作業室	1,319	1,412	358,500	396,400
機能回復プール	3,227	2,801	743,100	636,600
筋力トレーニング室	5,468	4,046	1,152,700	847,000
合計	19,035	17,054	3,145,400	3,879,500

カラオケ室	使用曲数(曲)		利用料(円) 合計	
	本年度	前年度	本年度	前年度
	1,470	1,372	145,900	137,150

特記事項	入浴施設の改修工事の影響が出るため、令和6年9月～令和7年3月末まで利用料金の割引を実施していたため、利用料合計が減少した。
------	--

○ 高齢者センター教室・講座等開催事業

教室名	参加者数(人)		参加者延べ人数(人)	
	本年度	前年度	本年度	前年度
水中体操教室	76	149	1,059	2,175
介護予防健康体操教室	205	187	2,949	2,684

特記事項	水中体操教室は改修工事の影響により半期(前期)のみの開催だったため、参加者数が大幅に減少した。
------	---

○ 総合福祉センター運営委員会

実施時期	内 容
第1回 10月11日	(1)委員長・副委員長の選任について (2)令和5年度総合福祉センターの利用状況について ①全体(共用エリア) ②高齢者センター ③児童センター ④障がい者センター ⑤保健センター ⑥相談支援センター (3)総合福祉センターの環境整備について
第2回 3月13日	(1)総合福祉センターの福祉拠点としての機能拡充に向けた検討について (2)食堂スペースの活用について (3)令和7年度車両の運用について

経営戦略②

助け合い活動やボランティアを生かした災害ボランティアセンターの運営や住民の安全が確保できる福祉避難所の運営を支援するため、設置・運営訓練の実施や施設の環境整備を進めていきます。

○ 災害等訓練実施状況

実施時期	内 容	参加対象	参加人数(名)
11月9日	県社協と連携し、災害ボランティアセンター設置・運営訓練及びアイボス操作訓練を実施した。	東海村 社協職員	26

○ 災害支援対応関係

期間	災害ボランティアセンター運営支援派遣	派遣職員数(名)
6月11日～ 6月17日	令和6年1月 能登半島地震における災害ボランティアセンター運営支援	1